

食品栄養学特別研究 評価ルーブリック

評価項目	A (25点)	B (20点)	C (15点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
食品栄養学的分野において解決すべき新たな課題を見出すことができる (A-2)	食品栄養学分野の文献や資料を検索し、科学的な知識を得たうえで、学術的・社会的に重要な研究課題を解決するために、先端的・独創的な研究計画を立てることができる	食品栄養学分野の文献や資料を検索し、科学的な知識を得たうえで、学術的・社会的に重要な研究課題を解決するための研究計画を立てることができる	指導教員の補助のもと、食品栄養学分野の文献や資料を検索し、科学的な知識を得たうえで、研究課題を解決するための研究計画を立てることができる	食品栄養学分野の課題を解決するための研究計画を立てることができない
課題の解決に向けた研究を遂行することができる (A-2)	立案した研究課題の目標達成のために、論理的・独創的に、主体となって研究を進めることができる	立案した研究課題の目標達成のために、主体となって研究を進めることができる	立案した研究課題の目標達成のために、指導教員の補助のもと、研究を進めることができる	目標達成に向けた研究を進めることができない
研究成果を論文にまとめることができる (A-2)	豊富なデータを正確な根拠に基づき科学的に解析し、新規で独創的な研究結果を導き出し、論理的な考察を行って研究成果としてまとめることができる	十分なデータを正確な根拠に基づき科学的に解析して研究結果を導き出し、考察を行って研究成果としてまとめることができる	指導教員の助言に基づいて、得られたデータを解析し、成果としてまとめることができる	得られた結果を研究成果としてまとめることができない
研究成果を地域や世界に向けて発信することができる (A-2)	修士論文発表会での発表と質疑応答に加え、研究成果を国際学会あるいは国際学術誌で筆頭著者として発表することができる	修士論文発表会での発表と質疑応答に加え、国内学会あるいは国内学術誌で筆頭著者として発表することができ、研究成果の概要を英文で公表することができる	修士論文発表会での発表と質疑応答に加え、研究成果の概要を英文で公表することができる	修士論文発表会での発表と質疑応答ができない、あるいは研究成果の概要を英文で公表できない